

主な研修内容は奈良県立医科大学附属病院において、CT 検査（装置の説明、3D 画像構築、撮影方法、造影方法など）、MR 検査（装置の説明、3D 画像構築、撮像方法、造影方法など）、IVR 検査（各装置の説明、各撮影技術、各治療方法の手技の説明、心臓模型の作製など）、放射線治療（照射方法、治療計画、治療技術など）、一般撮影技術、乳房撮影技など、約2週間かけて研修された。とくに、今回は心臓血管の模型を日本の臨床実習生と一緒に作成しました。高井会高井病院では PET 検査の研修を3日間行いました。そして、研修期間中、



奈良医大 CT室



心臓血管模型作成

ゴールデンウィーク等を利用して平城遷都 1300 年祭、京都見学などに参加していただき、日本文化にも親しんで頂きました。そのほか、奈良県放射線技師会総会参加、奈良県内の病院施設見学、四天王寺病院見学など、短期間に多くのスケジュールを無事にこなし、自分たちのものにされたのではないかと思います。この研修最後の成果報告会において、彼女たちの発表された内容は各施設での研修内容、日本文化に親しんだ、いろいろな体験について、自分たちが感じたことを率直に述べられていたと思います。そして、各施設の関係者、指導者の方々に対する感謝の気持ちが強く込められた報告であったと感じました。また、発表方法がスライドショーになっていて、研修内容が映画で見ているよう



宇陀市「はぎ乃」にて、高嶋会長



高井病院、宇都前監事と

に字幕で各施設の説明や担当者の紹介が流れるようになっていた。まるで映画を鑑賞しているようになっていたので、それを観ている私はなぜか心に「じ〜ん」とくるような感覚がしました。最後に、臨床実習病院として、奈良県立医科大学附属病院、高井会高井病院、国保中央病院、健康づくりセンター、四天王寺病院、済生会御所病院、天理よろづ相談所病院、宇陀市立病院と多くの施設にお世話になりました。各施設の方々にはお礼を申し上げます。ホームステイにご協力していただきました、上野山前会長、尾上理事に感謝いたします。今後とも、このような国際交流の経験を積むことが、これからの私たちによりよい知識、語学等を身につける場になると思いますので、海外学術交流事業を長く続けられるよう、会員の皆様のご協力お願いいたします。